



Cisco Crosswork のアンインストール

この章は次のトピックで構成されています。

- [Crosswork クラスタのアンインストール](#) (1 ページ)
- [Crosswork Data Gateway のアンインストール](#) (3 ページ)
- [Crosswork アプリケーションのアンインストール](#) (4 ページ)

Crosswork クラスタのアンインストール

このセクションでは、Cisco Crosswork クラスタをアンインストールするさまざまな方法について説明します。

- [クラスタインストーラを使用した VM の削除](#) (1 ページ)
- [vSphere UI を使用した VM の削除](#) (2 ページ)

クラスタインストーラを使用した VM の削除

インストールが失敗した場合は、クラスタインストーラツールを使用して、クラスタの状態に基づいて以前に作成した VM をクリーンアップするか、または削除します。これは、展開が失敗した場合の重要なアクティビティです。VM 設定またはデータセンターホストに変更を加えた場合は、再展開の前にクリーンアップ操作が必要です。



(注) インストーラ クリーンアップ オプションは、/data ディレクトリ内のインベントリに基づいてクラスタ展開を削除します。

ステップ 1 展開情報を保存するディレクトリを入力します。

たとえば、`_cd ~/cw-cluster` などです。

ステップ 2 ホストでコンテナを実行します。

```
docker run --rm -it -v `pwd`::/data <cw-installer docker container>
```

ステップ 3 テンプレートファイルのコピー (v4.tfvars など) をテキストエディタで編集し、データセンターのアクセスパラメータを追加します。残りのパラメータには、ダミー値を指定するか、または操作の実行時にコマンドラインで入力できます。

ステップ 4 `-m` フラグを使用して、`_cw-installer.sh install_` スクリプトを `clean` ディレクトティブとともに展開マニフェストで実行します。

-o オプションを追加して、データセンターから Cisco Crosswork イメージテンプレートを削除します。

次に例を示します。

```
./cw-installer.sh clean -m /data/deployment.tfvars -o
```

ステップ 5 プロンプトが表示されたら「yes」と入力して操作を確認します。

ステップ 6 (オプション) クラスタを迅速に (検証なしで) クリーンアップするには、次のコマンドを使用してインストーラを実行します。

```
docker run --rm -it -v `pwd`::/data <cw installer docker image> -exec './cw-installer.sh clean -m /data/deployment.tfvars'
```

vSphere UI を使用した VM の削除

この項では、vCenter から VM を削除する手順について説明します。この手順は、アプリケーション Cisco Crosswork VM を削除するために使用されます。



- (注)
- この手順では、すべてのアプリケーションデータが削除されることに注意してください。
 - Crosswork Data Gateway の削除のみを行う場合は、次のことを実行しておく必要があります。**
 - 削除する Crosswork Data Gateway VM からデバイスを切り離します。詳細については、『[Cisco Crosswork Infrastructure 4.4 and Applications Administration Guide](#)』の「[Delete Cisco Crosswork Data Gateway VM from Cisco Crosswork](#)」を参照してください。
 - この章の説明に従って Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除します。

ステップ 1 VMware vSphere Web クライアントにログインします。

ステップ 2 [ナビゲータ (Navigator)] ペインで、削除するアプリケーション VM を右クリックし、[電源 (Power)] > [電源オフ (Power Off)] を選択します。

ステップ 3 VM の電源がオフになったら、もう一度 VM を右クリックし、[ディスクから削除 (Delete from Disk)] を選択します。

VM が削除されます。

Crosswork Data Gateway のアンインストール

このセクションでは、Cisco Crosswork Data Gateway を削除する方法について説明します。

- [Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する \(3 ページ\)](#)

Cisco Crosswork から Crosswork Data Gateway VM を削除する


始める前に

削除する Crosswork Data Gateway VM はメンテナンスモードである必要があります。

ステップ 1 Cisco Crosswork UI にログインします。

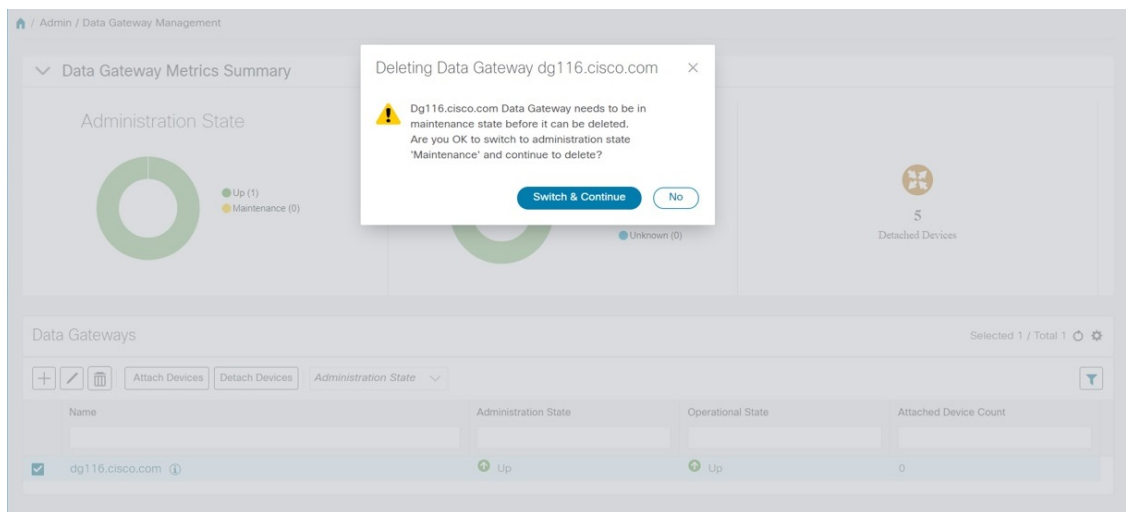
ステップ 2 ナビゲーションパネルから、[管理 (Administration)] > [Data Gatewayの管理 (Data Gateway Management)] の順に選択します。

[仮想マシン (Virtual Machines)] タブをクリックします。

ステップ 3 [仮想マシン (Virtual Machines)] リストで、削除する Crosswork Data Gateway VM を見つけ、[アクション (Actions)] 列の下にある  をクリックします。

[Delete] をクリックします。

ステップ 4 Crosswork Data Gateway VM がメンテナンス状態でない場合は、Cisco Crosswork によってメンテナンス状態に切り替えるように求められます。[メンテナンスに切り替えて続行 (Switch to maintenance & continue)] をクリックします。



Crosswork Data Gateway が削除されます。

Crosswork アプリケーションのアンインストール


このセクションでは、Crosswork UI でアプリケーションをアンインストールする方法について説明します。[Uninstall] オプションにより、アプリケーション、アプリケーション固有のメニュー、関連付けられたデータが削除されます。



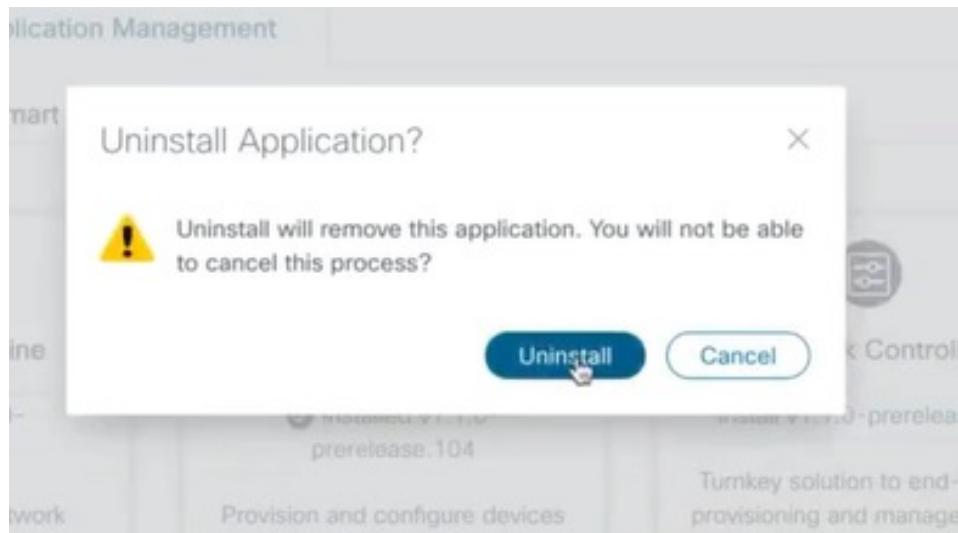
注目 Crosswork アクティブトポロジ（インストールされている場合）は、Crosswork Optimization Engine をアンインストールする前にアンインストールする必要があります。

ステップ 1 [管理 (Admin)]>[Crosswork マネージャ (Crosswork Manager)]をクリックし、[アプリケーション管理 (Application Management)]タブを選択します。

Crosswork プラットフォーム インフラストラクチャと追加されたアプリケーションは、ここにタイルとして表示されます。

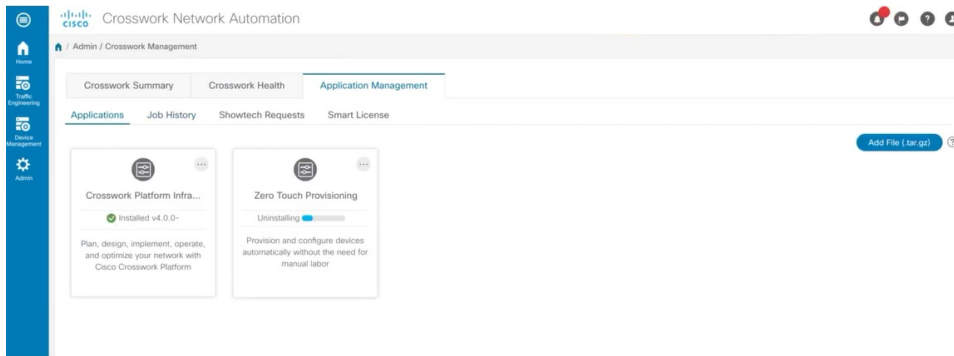
ステップ 2 アンインストールするアプリケーションタイルで  をクリックし、ドロップダウンリストから [Uninstall] オプションを選択します。

アクションを確認するためのポップアップが表示されます。



ステップ 3 [アンインストール (Uninstall)]をクリックして確認します。

選択したアプリケーションがアンインストールされ、同じ内容を反映するようにアプリケーションタイルが変更されます。



[Job History] ウィンドウ ([Application Management] > [Job History]) でアンインストールの進行状況を確認することもできます。アンインストールに失敗した場合は、[Job History] ウィンドウの関連オプションを使用して再試行できます。

- (注) アンインストール操作で、リポジトリからCAPPファイルが削除されることはありません。ユーザーが将来インストールする場合に備えて、CAPP ファイルは Crosswork UI に表示されたままになります。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。